



おにぎり通信

2020年3月28日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座・日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

落ち着かない日々がつづいていますね。私の子どもも、卒業式はおこなったものの、卒業生と教職員のみで、在校生は送辞を読み上げる1名のみでした。あっという間に終わったそうです。進学先の入学式も中止になり、講義の開始日も未定です。なんだか、ケジメのつかない春になってしまいました。

〈福祉行動報告〉 2020年3月16日(月)

どなたも参加されませんでした。

次回の福祉行動：3月30日(月)

東京駅丸の内南口地下に朝8時30分までに集合してください。

蒸気機関車の車輪が展示してある前に「おにぎり通信」を持った者が待機し

ていますので、声をおかけください。病院に行きたい方や、体を休めたい方と

一緒に「福祉事務所」まで、ボランティアが同行いたします。福祉行動は原則

として毎週月曜日です。福祉行動は参加されるそれぞれの方が、ご自身の希望

をご自身の言葉でハッキリと伝えることにより成り立ちます。

最寄の福祉事務所

中央区福祉事務所・中央区築地1-1-1 中央区役所4階

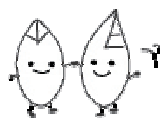
千代田区福祉事務所・千代田区九段南1-2-1 千代田区役所3階

2008年9月に起きたリーマンショックの影響で、仕事と住居を同時に失った大勢の人たちが、年末に日比谷公園に集まり、共に暖をとり、生存の保障を求めて派遣村が設置されたのは記憶に新しいところです。

今回の新型コロナウイルス感染症の拡大による経済への影響がじわじわと広がって、非正規で働いている人や、時給や日給で働いている人のなかには、生活がきびしくなっている人が出ています。もともと経済的に余裕がない人たちが休職等をせざるをえないことになってしまつと、たちまち生活に困窮してしまいます。

政府の緊急対策によって休職の際の支援制度ができたとしても、実際に手もとに給付金や補償金等の支援が届くまでに時間がかかるため、その間のお金をまかなう貯えがありません。

そのように生活の危機に直面したときには、遠慮なく生活保護を申請しましょう。生活保護制度は資産や住居がない人はもちろんのこと、働いている人でも健康な人でも、収入と資産が生活保護基準を下回れば利用できる制度です。生活保護基準は年齢や世帯人数、住んでいる地域などによっても異なりますが、都内だと単身で13万円前後です。収入がこの生活保護基準に満たない場合に、足りない分の支給を受けることができます。収入や財産がない場合には、満額需給することができます。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ箱に入れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりはかならずその日のうちにお召し上がり下さい。一人でも多くの方に召し上がっていただくため、おにぎりは一人一個でお願いいたします。

四ツ谷おにぎり仲間 連絡先 080-7967-8672

連絡可能時間 毎週土曜日 午後3時～午後6時

千代田区翹町6-5-1 聖イグナチオ教会